

みんなで作ろう！ セーフコミュニティちちぶ

交通安全対策委員会 活動報告



国際認証都市
セーフコミュニティちちぶ

発表者:委員長 金子 理恵子
所 属:タクシー協会

交通安全対策委員会 構成

| 区分 | 団体・組織名 | 委員数 |
|-----------|-----------------------|-----|
| 住民組織 等 | 秩父タクシー協会 | 1名 |
| | 秩父市交通安全母の会 | 1名 |
| | 秩父市町会長協議会 | 1名 |
| | 秩父地方交通安全協会 | 1名 |
| | 秩父市交通指導員 | 1名 |
| | 秩父市交通安全教育担当指導員 | 1名 |
| | 秩父地区交通安全推進事業所協会 | 1名 |
| | 埼玉県道路使用適正化協会秩父支部 | 1名 |
| 警察 | 秩父警察署 | 1名 |
| 行政機関 | 埼玉県秩父県土整備事務所 | 1名 |
| | 秩父市（道路維持課、市民生活課、公募職員） | 4名 |

交通安全対策委員会で設定した課題

課題 1

高齢者は、歩行中の重傷事故が多い。



課題あり

課題 2

子どもの自転車乗車中の事故が多い。



減少傾向

課題 3

特定の場所での事故が多い。



課題あり

課題 4

追突事故が多い。
(特に 原谷地区の追突事故)



減少傾向

交通安全対策委員会の取組み

1. 高齢者の交通安全教室

2. 子どもの交通安全教室

3. 高齢者世帯訪問

4. プロドライバーからの情報収集

5. 街頭キャンペーン

6. 道路環境の整備

7. セーフティドライバープロジェクト



取組み① 高齢者の交通安全教室

高齢者の歩行中の事故時間別

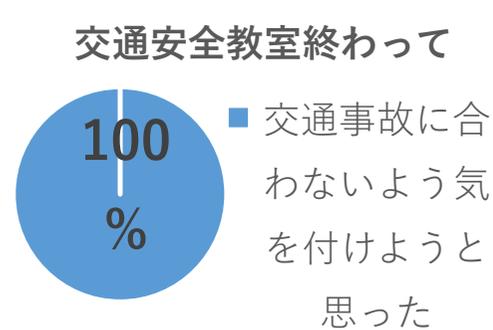
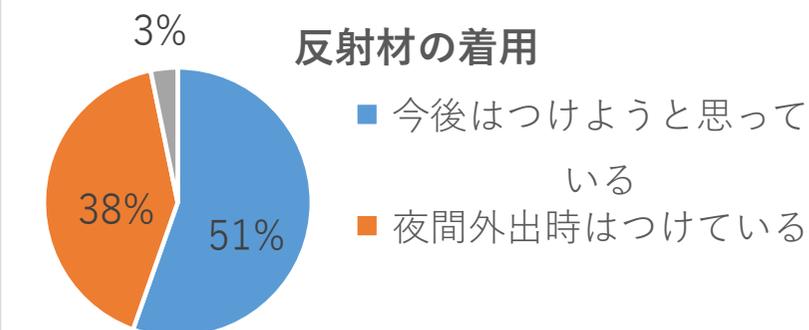
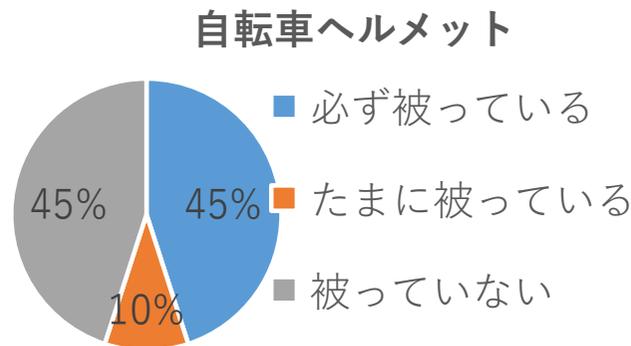
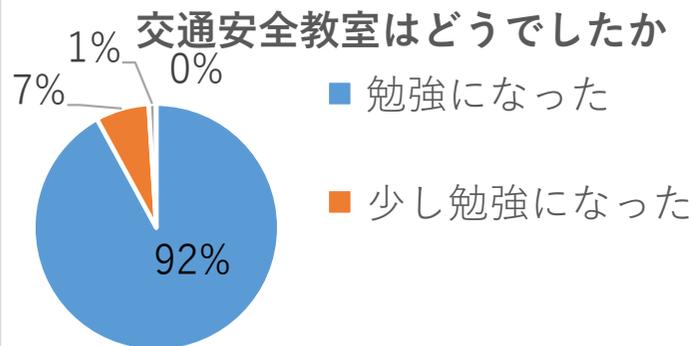
| | 早朝 0時～6時 | 午前 6時～12時 | 午後 12時～18時 | 夜間 18時～24時 | 計 |
|------|-------------|--------------|---------------|---------------|----|
| 2013 | 1(死) | 3(重) | 3(重)1(死) | 2(重) | 10 |
| 2014 | | 1(重) | 4(重)1(死) | 1(重)1(死) | 8 |
| 2015 | | 3(重) | 3(重) | 3(重) | 9 |
| 2016 | | 1(重) | 3(重) | 1(死) | 5 |
| 2017 | | 4(重)1(死) | 3(重) | | 8 |

交通安全教室の実施回数及び受講者数

| | | |
|-------------|------------|---------------|
| 2014 | 32回 | 1,070人 |
| 2015 | 37回 | 1,159人 |
| 2016 | 38回 | 1,254人 |
| 2017 | 39回 | 1,264人 |

出典：警察データ

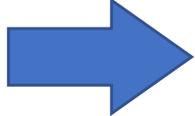
高齢者の交通安全教室



取組み② 子どもの交通安全教室



| 秩父市 | |
|-------|------|
| 人身事故 | 296件 |
| 自転車事故 | 25件 |



| 小・中学生 |
|-------------|
| 21件 (11月まで) |
| 4件 |

| 埼玉県内 | |
|-----------|-----|
| 自転車事故 (死) | 47件 |

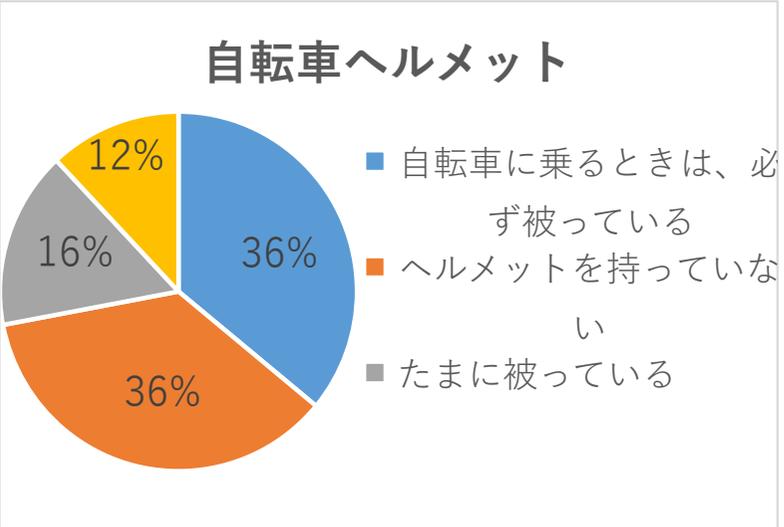
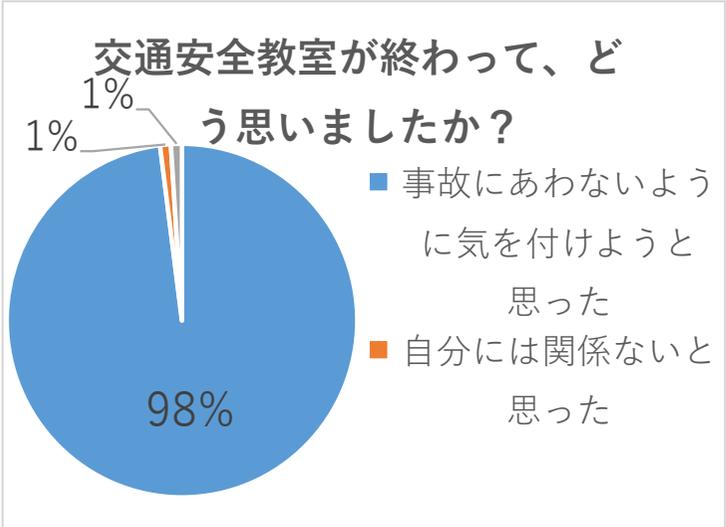


| ヘルメットをしていたら助かった |
|-----------------|
| 12件 |

「止まる、見る、待つ、確かめる」
幼稚園～小学6年生まで毎年指導

出典：警察データ

自転車ヘルメット補助金



取組み③ 高齢者世帯訪問

内容

各種会合に参加しない高齢者に対して世帯訪問をし、直接交通安全を啓発する。



活動（2018年度）

<民生委員>

寺尾地区に380個反射タスキを配布

大野原地区に570個反射タスキを配布

<交通安全母の会>

野坂町の219世帯にチラシと反射材を配布

取組み④ プロドライバーからの情報収集

内容

タクシードライバー、路線バスドライバーなどのプロの視点から、交通マナーについてアンケートによりデータ収集。

| | 徒歩 | 自転車 | バイク | 自動車 | その他 | 不明 | 合計 |
|------|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 子ども | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 中高生 | 2 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 大人 | 16 | 8 | 5 | 38 | 0 | 7 | 74 |
| 高齢者 | 4 | 12 | 0 | 11 | 0 | 3 | 30 |
| 年齢不明 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 7 |
| 合計 | 24 | 28 | 6 | 51 | 1 | 12 | 122 |

2014年12月～2015年1月実施

アンケート回収数774件のうち、「危険行為があった」との回答数**122件（15.8%）**その相手方の年齢と交通手段を集計。

今後の活動

タクシードライバーへアンケート調査を実施中

取組み⑤ 街頭キャンペーンの実施

| 秩父市全体の交通事故発生件数（人身） | | | |
|--------------------|---------------|----------------|---------------|
| 234件 (H26) | 226件 (H27) | 218件 (H2 8) | 226件 (H29) |
| 追突による交通事故発生件数 | | | |
| 109件 (H26) | 86件 (H27) | 85件 (H28) | 75件 (H29) |
| 死亡事故発生件数 | | | |
| 2件 (H26) | 0件 (H27) | 1件 (H28) | 4件 (H29) |

出典：警察データ

H30年は**5件**の死亡事故発生



街頭キャンペーンの回数を増やした
(啓発品をドライバー等に配布)

街頭キャンペーン実施回数

| | |
|------|-----|
| 2014 | 40回 |
| 2015 | 30回 |
| 2016 | 32回 |
| 2017 | 34回 |
| 2018 | 38回 |

(1月18日まで)



取組み⑥ 道路環境の整備

概要

事故多発地域に事故注意看板を設置する。



整備箇所数

| | | |
|--------|--|----------------------|
| 2014年度 | ISS地区にゾーン30設置 死亡事後交差点に信号機設置 国道140号追突注意看板設置 | |
| 2015年度 | 交通安全啓発用反射立看板 | 20枚設置 |
| 2016年度 | 交通安全啓発用反射立看板 | 32枚設置 |
| 2017年度 | 交通安全啓発用反射立看板 速度抑制路面標示 | 33枚設置 3箇所 |
| 2018年度 | 交通安全啓発用反射立看板 速度抑制路面標示 交通事故防止注意喚起の看板 | 41枚設置 2箇所 3基設置 |



取組み⑦ セーフティドライバープロジェクト 市民参加型交通安全対策

日常生活の中で、決められた速度や交通ルールを守り、安全走行（セーフティドライブ）に努める市民ボランティア（セーフティドライバー）や事業所を募集する。優良ドライバーを増やしていくことで、運転に関する意識改革を図り、交通事故「0」を目指していくものである。

亀岡市の事例

オリジナルマグネットステッカーを車両後部に貼り、市内を走行している。現在、秩父市オリジナルステッカーを考案中。



今日からできるセーフコミュニティ

早朝・夜間では薄暗く、
事故が発生しやすくなっ
ています。

反射ストラップ等を身に
着けて、未然に事故を防ぐ
ようお願いします。





ご清聴ありがとうございました！